

青葉

(あおば)

明石市立江井島中学校
第2学年 学年通信
NO. 45
平成29年10月10日(火)

9/6(火)のクラス発表会に引き続き...

素晴らしい人権作文全校発表会!!

2学期が始まって、学級組織づくり、課題テストに引き続いて体育大会の練習が始まり、忙しい毎日が続いていた中で、5日(火)の道徳の時間に、夏休みの宿題だった人権作文クラス発表会が行われました。そして、その中からクラス代表が選ばれ、先日の道徳の時間に体育館で人権作文全校発表会が行なわれました。

人権作文全校発表会での作文の内容は、発表者の思いや体験など素晴らしい作品ばかりであったと思います。各学年クラス代表6名の発表を聞いて、それぞれの人がその内容に共感したり、自分自身の考えとの違いなどを感じたのではないでしょう

か。人権作文を書き、発表する機会は1年を通して夏休みだけです。しかし、人権の問題は日頃から、身近なところでいつも考える必要のあることです。これから1年間、自分の身の回りでの意識を今まで以上に高めて、さらに成長してほしいと思います。先日の発表をすべて紹介することはできませんが、2年生の発表した内容を紹介したいと思います。

☆人権作文全校発表会より

「大好きだった祖父」

(1組)

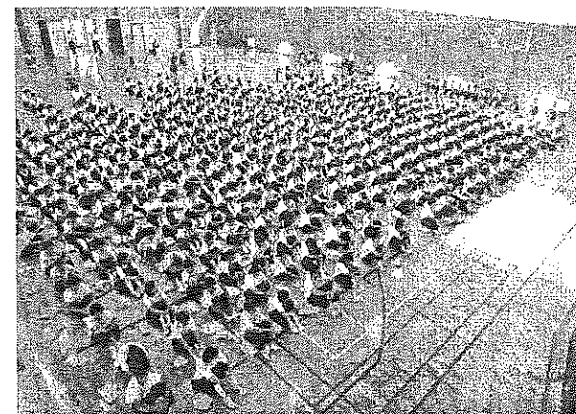
人権作文のテーマがなかなか決まらずに悩んでいた僕に、母が祖父の話をしてくれたので、その事を書きたいと思います。

3年前に亡くなった祖父とはたくさんの思い出があります。母の仕事の関係により、僕は0才から6才まで、姫路の保育園に通っていました。保育園から帰ると、母の実家で祖母や祖父、いとこと過ごし、母の仕事が終わるのを祖父や祖母、いとこと遊んで待っていました。祖父は、家の近くの畑仕事に毎日出かけていました。「おじいちゃん、僕も一緒に行く。」と言って毎日一緒に畑に行きました。田舎の田んぼや畑の昆虫、田舎の常に水の流れている側溝は、魚や水

生昆虫などの興味がひくものばかりで、僕の生き物好きは、この土地で育ったせいかもしれません。僕が捕まえた生き物たちの名前を、祖父は1匹1匹丁寧に教えてくれました。「ドンコ、アメリカザリガニ、コオイムシ、アマガエル、ドジョウ、イモリ、タイコウチ」、畑仕事の合間に「おじいちゃん捕まえて!」とせがむ僕の為に、一緒に汗だくになって捕まえてくれる優しい祖父でした。

その大好きな祖父は、潰瘍性大腸炎という難病にかかり、食事食べても上手く消化することができないので、栄養の吸収が悪く、どんどん痩せていきました。畑の水やりを欠かした事のなかった祖父が、畑に行けない日が多くなっていきました。そのうち歩行がふらつくようになり、出かける時には車いすが必要になりました。自宅のお風呂には入れなくて、母の勤めているデイサービスセンターで入浴させてもらっていました。体調がさらに悪化して、免疫が下がると肺結核を発症しました。遠くの病院に入院することとなり、このまま退院できないかもしれないと母に聞かされ、僕はとても大きなショックを受けました。3か月が経ち、薬で結核の症状がおさまった祖父に、お医者さんは胃ろう(胃に穴を開けチューブで胃に流動食を流す)をすすめました。だけど、認知症の進んだ祖父にどうしたいか聞いても答えは返ってきません。家族みんなで話し合いをした結果、胃ろうにはしませんでした。料理することも食べることも大好きだったので、最後まで口から食べさせてあげたいという事で、この選択は、祖父の命を縮めることになるかもしれないけれど、家族で協力していこうということになったそうです。

食事の時には、とても時間をかけてゆっくりと口へ運び、介助が必要となりました。夜間も



1人で排便ができない祖父の横で見守り、付き添うことが必要でした。退院後の1か月間、祖父は見違えるほど元気になり、よい表情を見せました。歩けなくなっていたのに、ヒョッコリ1人で歩いて部屋から出て来た時は、家族もビックリしたそうです。僕が見舞って祖父にあいさつをすると、ニッコリほほえんでくれました。

自宅で1か月を平穏に過ごした祖父ですが、肺炎にかかり緊急入院した病院で、1週間後に亡くなりました。母は、胃ろうにしなかった事が、祖父の命を短くしてしまったかと考えていろいろ悩んでいましたが、僕は家族みんなが祖父の為に考えて、一生懸命、介護をしたので祖父も喜んでいると思いました。

人権とか権利とか言うとか難しく考えてしまうけれど、誰かが誰かを思ってその人の幸せを思って出来ることをする。人を大切に思う気持ちを忘れずに毎日を生きていけたらいいと思います。

